



【6月11日】交通安全教室 2限目4・5・6年、3限目1・2・3年

6月11日(金)の2限目と3限目に、体育館にて、交通安全教室を実施しました。2限目は高学年、3限目は低学年に分かれて、鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課の田中さん、交通指導員の近藤さんたちから、お話と実演、実技を交えた注意点などについて教えて頂きました。

はじめに視聴したDVD「交通安全ラボ」ではミッション①「事故の原因を考えよう」の中で小学生の交通事故で一番多い「**交差点での事故**」について映像をもとに原因を考えました。原因は、「〇〇〇〇を守らなかったから」でした。(覚えていますか)。二つ目は、自転車は車の仲間なので、事故を起こした時には自転車を運転していた人の責任になるというお話で、庄内小学校区にも多い「**坂道での事故**」のお話でした。映像の中の原因は「〇〇—〇を出しすぎて安全に止まらなかったから」でした。ミッション②「かくれた危険をクイズで考えよう」では、「交差点でのかくれた危険」「走る車のかくれた危険」「止まっている車の横を通る時の危険」の3つのお話をして頂きし

た。それぞれ、見通しの悪い交差点でどうしたらよいか、車には死角があること、止まっている車からの飛び出しやドアが開くことがあることなど、色々な場面について勉強しました。

「どんなことが印象に残っている？」とお子さんに尋ねながら、自転車の乗り方などについて、一度ご家庭でも、これを機会にお話頂けると幸いです。

実演では、道路に見立て斜めにした筒の中を、車の代わりにテニスボールが転がってくる。筒の出口にいるウサギの人形をボールから助けようというものでした。それぞれの学年から一人ずつ出てきてもらい助けようとするのですが、うまく助けられません。「どうしたら助けられる？」という質問に、ボールが転がってくる様子が分かるとよいというアイデアが出されて、実際に試してみると、助けられました。子どもたちからは「すぐ反応できる」「このままだとあたると予想できた」という考えが出され、交通指導員さん



高学年の部・・・ボールが見えない時の様子



低学年の部・・・ボールが見えている時の様子

さんから「こんな思いをしたことがある人はいますか。」と聞かれると数人が手を挙げました。これらの実演などで学んだことは、次のようなことでした。

とまって たしかめることは いのちをたいせつにすること
—(いったん) + 止(とまったら) → 正(正しい行動)



実技の部では

まず「**ヘルメットの正しいかぶり方**」の説明をして頂きました。

- ①あごひも・・・指1本分くらいの余裕があるように調節
- ②ヘルメットの下のところと地面が平行になるようにかぶる。(大事な頭をきちんと守るためのかぶり方)

次に「**正しい自転車のかまえ**」について教えてもらいました。

- ①両手ブレーキ
- ②右足ペダル (右足ペダルのくせをつけよう)

※風などが吹いて、もしふらついてこけるような時に、左足ペダルだと車道側にこける可能性が高くなるため。



「とまれ」の標識のある交差点での確認と渡り方

- ① 両手ブレーキ、右足ペダル、「うしろよし」出発
- ② 「とまれ」でとまったら、

1～3年

4～6年

- ・自転車からおりて 右よし 左よし
- ・自転車を押して渡る
- ・両手ブレーキ、前に顔を出して 右よし 左よし
- ・自転車に乗ったまま横断 右よし 右後ろよし



動作の確認をしました。

交通安全教室の宿題・・

- ①自分のヘルメットをチェックしよう
- ②出発のとき
両手ブレーキ、右足ペダルか確認しよう。

(Oの答え「しんごう」と「スピード」でした。)

【6月11日】6年生・4限目・出前授業「租税教室」



同日の4限目、6年生は鈴鹿法人会の出前授業「租税教室」の講義を受けました。

講師の竹森さん、太田さんから、授業のはじめに「所得税を払っている小学生はいると思いますか。」「みんなの中で税金を払ったことがある人はいますか。」「消費税はどんな時に払いますか。」などの質問を受けて、6年生は税について少しずつ考えを深めていきました。講師の先生方、ありがとうございました。